

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公開番号】特開2001-141193(P2001-141193A)

【公開日】平成13年5月25日(2001.5.25)

【出願番号】特願2000-159412(P2000-159412)

【国際特許分類】

<i>F 17 C</i>	<i>5/02</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>B 01 F</i>	<i>3/08</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>B 01 F</i>	<i>15/00</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>B 01 F</i>	<i>15/04</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>B 67 D</i>	<i>5/56</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>F 17 C</i>	<i>5/02</i>	<i>Z</i>
<i>B 01 F</i>	<i>3/08</i>	<i>Z</i>
<i>B 01 F</i>	<i>15/00</i>	<i>Z</i>
<i>B 01 F</i>	<i>15/04</i>	<i>A</i>
<i>B 67 D</i>	<i>5/56</i>	<i>Z</i>

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

各液化ガスの送液手段2a、2b、2cの吐出部には、リリーフ弁21a、21b、21cが設けられている。このリリーフ弁21a、21b、21cの設定圧は、流量制御弁4a、4b、4cが各液化ガスの流量を制御したときの個別配管(I L a、I L b、I L c)の圧力よりも若干高く設定され、各液化ガスが気液混合状態とならず、常に液体として流量制御されるように圧力を保つ。また、下流側で、不測の事態等が生じて、各液化ガスの流れが停止した場合に、それぞれの貯蔵タンク(供給源)1a、1b、1cにバイパスさせる安全弁としての役目も果たす。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

プロパン(a)、ブタン(b)、ジメチルエーテル(c)はそれぞれの貯蔵タンク1a、1b、1cに貯蔵されており、送液手段2a、2b、2cによって1.1MPaまで加圧されて個別配管I L a、I L b、I L cに供給し、リサイクル手段R a、R b、R c内をリサイクルさせた。この時、流量制御弁4a、4b、4cに付属する流量調節計5a、5b、5cには各液化ガスが上記重量%となるように設定値が入力されており、質量流量測定器3a、3b、3c(オーバル社製、マイクロモーション流量計)によって測定された各液化ガスの測定値が、上記の設定値と等しくなるよう各液化ガスの流量が制御された。また、リサイクル手段R a、R b、R cの圧力は圧力調整器8a、8b、8cによって、それぞれ1.05MPaに設定された。